

第141期のトピックス

平成17年	4月	●安全・教育事業を分割し、ヤマト・スタッフ・サプライ(株)へ統合
	5月	●宅急便の情報システムに「次世代システム」を導入することにより配達情報をリアルタイム化
	6月	●小倉元会長逝去 ●「宅急便送り状印字サービス」のホームページでの申し込み開始
	7月	●カタログ・パンフレット等を全世界宛に配送する新商品「クロネコ国際メール便」を発売 ●通販事業者様向け総合決済サービス「宅急便コレクト」開始 ●「株主・投資家情報」のホームページリニューアル
	9月	●「クロネコヤマト引越センター」ホームページリニューアル ●「CSR報告書2005」刊行
	10月	●事業用トラック事業者様の利便性を向上し、更なるコスト削減を実現するために、斬新な発想を取り入れた 車両整備工場(スーパーワークス札幌工場)を竣工
	11月	●ヤマトホールディングス株式会社への商号変更および新生・ヤマト運輸株式会社誕生 ●宅急便コレクトの情報提供サービス「infoBOX」(インフォ ボックス)の運用開始 ● 「らくらく家財宅急便」発売 ●「宅急便e-お知らせシリーズ」開始
平成18年	1月	●宅急便誕生30年を記念し 「30年のありがとう! クロネコからのプレゼントキャンペーン」を展開
	2月	● 「宅急便店頭受取サービス」開始 ●日本郵政公社に対する不公正取引差止請求訴訟における控訴 ●セイノーホールディングスとのボックスチャーター事業で共同出資契約締結
	3月	●ドイツポスト・ワールドネットとの合弁会社「ヤマトダイアログ&メディア株式会社」設立

ヤマト運輸より ▶▶▶ <http://www.kuronekoyamato.co.jp/tentou/tentou.html>

ますます便利になった宅急便。宅急便店頭受取りサービス開始

近年の生活形態の多様化により、「宅急便を深夜・早朝でも受け取りたい」という要望が増えてきています。ヤマト運輸では、このご要望にお応えし、平成18年2月から、ご不在のため持ち帰った宅急便をお客様がご指定されたご自宅や勤務先近くのお店（コンビニエンスストア等）で受取れるサービスを開始しました。

お申込みは、パソコンや携帯電話でヤマト運輸のホームページからインターネットでのお申込みとなります。ご利用いただけるコンビニエンスストアはセブンイレブン（東京23区）、ファミリーマート、スリーエフ（東京都足立区・板橋区のみ）（平成18年5月現在）です。なお、このサービスご利用のための付加料金はありません。



ヤマトオートワークスより ▶▶▶ <http://www.yaw.co.jp/>

新発想の車両整備工場。スーパーワークスが次々に竣工

ヤマトオートワークスは事業用トラック業者様の利便性を向上し、さらなるコスト削減を実現するために、斬新な発想を取り入れた車両整備工場（スーパーワークス）を新設しています。昨年10月の札幌工場、本年1月の三重工場に続き、4月には東京工場が竣工しました。

スーパーワークスは、営業車両の稼働を止めないためにいつでも整備ができる24時間365日営業、整備スタッフ全員が検査員資格保有者で最高のサービス提供を目指しています。施設面ではコンパクトな作業場レイアウト、大型リフト1基につき小型車2台が同時に作業できる業界初の大型・小型兼用リフトの開発、入庫から出庫まで一度も入れ替えを必要としない一筆書きのレイアウトなどで作業生産性の向上を図り、最終的にはお客様の自家工場となり、コスト削減をとともに追求していきます。今後、このような整備工場を全国に展開していく予定です。



本社完成図



ヤマトホームコンビニエンスより ▶▶▶ <http://www.008008.jp/kazai/index.html>

家具や家電も気軽に送れる「らくらく家財宅急便」開始

「らくらく家財宅急便」は、個人で送ることがむずかしいソファやベッド、冷蔵庫などの大きな家具や家電を宅急便感覚で気軽に宅配するサービスです。お電話一本でご希望の時間帯に引き取りにうかがい、ドライバーと作業スタッフがお荷物を包装して送ります。配達も宅急便と同様に全国翌日または翌々日に時間帯指定ができ、料金はお荷物の大きさや届け先により決まる、わかりやすい料金体系となっています。また、家具の分解・組立作業や、家電の取外し・取付け工事のご要望にも対応しています。（別料金）

